

地域振興推進費事業計画・自己評価書 実績

提出区分	実績	整理番号	18	課題区分	C
横断的な課題	環境にやさしく自然災害に強い地域づくりの推進				
地域重点政策	防災・減災による安全安心な地域づくり				
実施機関	長野建設事務所			担当課	所属 計画調査課
事業名	安全・安心な暮らしを支える土木施設見学会			電話	026-234-9540
				E-mail	choken-keicho@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	自然災害が激甚化・頻発化しており、長野圏域においても令和元年東日本台風による豪雨災害や、昭和60年地附山における地滑り災害など大規模な災害を経験している。 地附山の地滑りは、発災から40年を迎え、7月26日に長野市が「地附山地すべり災害40周年土砂災害対応防災訓練」を開催するなど、改めて自然災害から被害を防ぐためのハード・ソフト両面で減災に向けた取組の推進が求められている。			
	現状と課題	県では、治水・砂防などの地域の安全・安心な暮らしを支える公共土木施設の整備を計画的に進める必要がある。また、防災・減災に関する住民意識の向上や住民にわかりやすい広報などを進めることも必要となっている。このため、長野地域内の公共土木施設、防災・減災に係る施設などに触れる学習会等を開催し、災害専門家等を講師とする防災学習も実施し、公共土木施設(事業)に対する理解と、地域住民の防災意識の向上を目指す。			
	内容 (変更後の内容)	公共土木施設、防災・減災に係る学習会等を開催(長野市土砂災害対応防災訓練と連携開催) ①日時: 7月26日(土) ②場所: 長野市立湯谷小学校 ③対象: 地域住民 ④内容: 降雨体験車、公共土木施設の模型(土石流砂防堰堤の模型等)を活用した防災学習会を開催※災害伝承カードも配布			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	安全・安心な暮らしを支える土木施設見学会の開催	防災訓練において降雨体験車等により防災学習を実施	130,900円	【委託費】 降雨体験車等運営に係る経費(装置の操作や説明業務を委託): 130,900円	
	合 計		130,900		
指標及び達成状況	成果指標		成果	達成状況	
	イベントへの参加者		200名	300人	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成
事業実績・成果	公共土木施設、防災・減災に係る学習会等を開催(長野市土砂災害対応防災訓練と連携開催) 開催日時: 令和7年7月26日(土)8:00~12:00 場所: 長野市立湯谷小学校 参加人数: 約300人(地域住民) 実施内容: 降雨体験車および3D土石流体験車による体験 災害専門家による講義と公共土木施設、防災・減災に係る学習会(模型を用いた防災学習) 地附山地すべり災害の記録映像上映 災害伝承カードの配布 成果・効果: 長野市防災訓練との連携により、地域住民約300人が参加し、体験型学習を通じて防災意識の向上につなげることが出来た。 公共土木施設の役割や土砂災害の危険性を理解し、地域防災力の強化に寄与した。 地附山地すべり災害から40年を迎え、防災について改めて考える機会となった。				
今後の方向性	地附山地すべり地を有する長野市湯谷団地区において、別途事業により地区防災マップ作成支援を行い、更なる地域防災力向上につなげたい。				